

令和 5 年度

生徒募集要項

求める生徒像

- 中学校段階までの基礎学力を身につけた生徒
- 情報・ビジネスに関する学習に対して興味・関心がある生徒
- 地域から学び、地域に貢献しようとする意欲を持った生徒



島根県立情報科学高等学校

所在地 〒692-8500 安来市能義町 310 番地

電話 (0854) 23-2700

FAX (0854) 22-2933

URL <http://johokoko.ed.jp/>

※すべての選抜に関して、今後の新型コロナウイルス感染症等の状況によっては、方針等を変更する場合があります。本校会場以外を受検会場とすることなどが生じた場合には、中学校等を通じて志願者に連絡するとともに、本校ホームページでも周知します。

I. 募 集

1. 入 学 定 員

120名（全学科くくり募集）

なお、身元引受人による県外からの受検者の合格者数の上限は、推薦選抜、一般選抜、第2次募集を合わせて9名とします。

2. 応 募 資 格

島根県公立高等学校入学選抜に応募することができるのは、次の(1)から(3)のいずれかに該当する人です。

- (1) 中学校もしくはこれに準ずる学校もしくは義務教育学校を卒業した人、または中等教育学校の前期課程を修了した人
- (2) 令和5年3月に中学校もしくはこれに準ずる学校もしくは義務教育学校を卒業する見込みの人、または中等教育学校の前期課程を修了する見込みの人
- (3) 学校教育法施行規則第95条の規定に該当する人

II. 推 薦 選 抜

本校では、以下に定める人を対象に、推薦選抜を行います。

1. 推薦選抜の対象となる人

Iの2の(2)に定められた、令和5年3月に中学校もしくはこれに準ずる学校もしくは義務教育学校を卒業見込みの人、または中等教育学校の前期課程を修了見込みの人のうち、次の(1)～(6)の各事項に該当し、当該中学校等の校長が推薦をする人。

- (1) まじめな生活態度で何事にも一生懸命取り組める生徒であること。
- (2) 3年間の出席状況が良好な生徒であること。
- (3) 本校を志望する動機や理由が明確で適切であること。
- (4) 本校で学べる専門教科科目に関し、興味・関心及び意欲を有すること。
- (5) 次の推薦区分のいずれかに該当すること。
 - ア. 学業推薦：学習に対して努力し、成果を上げている人
 - イ. 活動推薦：部活動、生徒会活動、社会体育・社会文化活動、地域活動などの課外活動に3年間まじめに取り組む、入学後も熱意と意欲をもって継続する意思がある人
 - ウ. 未来探究推薦：本校での学びを通して自己実現をはかりたい者で次のいずれかに該当する人
 - a. プログラミングなどパソコンの利用に関する知識・技能の資格や各種コンクール等において、成果を上げた人または同等の能力を持つ人で、本校でその能力をさらに伸ばし、自己実現を達成したい人
 - b. 部活動などの課外活動を通して、ITに関する知識や技能を習得し、自己実現を達成したい人
 - c. 地域が抱える諸問題について強い興味と関心を持ち、その解決策等について探究的な学びを進めるなかで、その学習成果を自己実現につなげたい人
- (6) 合格内定した場合、入学の意思が確実であること。

2. 募 集 人 員

入学定員の30%程度（36名程度）

3. 出 願 期 間

令和5年1月11日(水)から1月16日(月)12時までとします。

持込みの場合：1月11日(水)、1月12日(木)、1月13日(金)は9時から17時までです。

1月16日(月)は9時から12時までです。土・日曜日は受け付けません。

郵送の場合：1月16日(月)12時以降に届いたものについては、1月13日(金)までの消印があるものに限り受け付けます。

4. 出 願 手 続

- (1) 本校は、全学科くくり募集ですので、学科別の募集はしません。
- (2) 入学志願者は出願にあたり、次に掲げるものを、出身中学校等の校長を経由して所定の期間中に提出してください。
 - ア. 本校所定の入学願書（推薦選抜用のもの）
 - イ. 調査票（本校所定の志望理由書）
 - ウ. 写真1枚（たて4cm×よこ3cm）

6か月以内に撮影した顔写真を、入学願書の所定の欄にはりつけてください。写真は無帽・無背景・正面とし、原則として制服とします。白黒・カラー写真の別は問いません。
 - エ. 受検料
島根県収入証紙2,200円分を、入学願書の所定の欄にはりつけてください。ただし、消印をしてはいけません。
 - オ. 保護者が県外に居住する場合または出身中学校等が県外の場合は、「島根県公立高等学校入学志願承認願」（様式第8号）が必要になります。
- (3) いったん受理した入学願書、添付書類等、および受検料は返還しません。

5. 選 抜 方 法

受検者全員に対して、以下の通り、面接試験を実施します。

さらに推薦区分ウ「未来探究推薦」については、あわせてプレゼンテーションを実施します。

- ア. 期 日 令和5年1月19日(木)
なお、推薦選抜実施日に、新型コロナウイルス感染症罹患等により受検できない受検生が出た場合は、別の実施日として令和5年1月25日(水)を設定します。
- イ. 会 場 島根県立情報科学高等学校
- ウ. 時 程 9:15～9:40 受付 9:45～9:55 諸注意等 10:00～ 面接・プレゼンテーション
- エ. 面接試験(推薦区分ア～ウ)の評価の観点
① 志望動機の明確さ ② 本校での諸活動への意欲 ③ 本校の専門教育に関する興味・関心
④ 言葉遣い、礼儀などの態度 ⑤ 地域に関する興味・関心
- オ. プレゼンテーション(推薦区分ウ)の評価の観点
① 自己実現像の明確さと達成に向けての意欲 ② 伝えようとする熱意 ③ 表現力

6. プレゼンテーションの方法と資料

(1) プレゼンテーションの方法

パワーポイントまたはPDFファイルを、プロジェクターを用いて投影し発表します。また、会場にホワイトボード、黒と赤のマジックペンおよびマグネットを用意しますので、紙の資料を持ち込み貼り付けて発表したり、マジックペンを使って文字を書きながら発表したりすることもできます。なお、発表の方法についてご相談がある場合は本校までお問い合わせください。

(2) プレゼンテーション資料の事前提出

推薦選抜試験当日のプレゼンテーションでプロジェクターに投影するパワーポイントまたはPDFファイルの電子データは、CDやDVDの媒体にコピーして事前に提出してください。願書等の出願書類と同封してもかまいません。当日は提出された電子データを本校が準備するWindowsパソコンで開き、プロジェクターに投影します。なお、提出後の資料の追加や変更は認めません。また、資料の返却はいたしません。

事前提出期間：令和5年1月11日(水)から1月16日(月)12時までとします。

持込みの場合：1月11日(水)、1月12日(木)、1月13日(金)の9時から17時までとします。

1月16日(月)は9時から12時までです。土・日曜日は受け付けません。

郵 送 の 場 合：1月16日(月)12時以降に届いたものについては、1月13日(金)までの消印があるものに限り受け付けます。

7. 受検上の注意

(1) 受検者は次の物を持参してください。

ア. 受検票 イ. 筆記用具 ウ. プレゼンテーション資料(該当者) エ. 上履き オ. マスク

(2) 難聴の人は、届け出て、補聴器を使用してもかまいません。

(3) 検査場に持ち込むことができる時計は、計時機能だけのものに限りです。

(4) 携帯電話、その他の通信機器を、検査場に持ち込むことはできません。

8. 合格内定通知

(1) 令和5年1月26日(木)10時以降、中学校等の校長を通して本人に通知します。

ただし、合格発表は令和5年3月16日(木)10時に、一般選抜の合格者と同様に行います。

(2) 電話での問い合わせには応じられません。

9. そ の 他

合格者は、令和5年3月27日(月)の入学予定者オリエンテーションの際に、本校所定の「入学届」(合格通知とともに配布します)を提出してください。

Ⅲ. 一 般 選 抜

1. 募 集 定 員

本校の入学定員120名から、推薦選抜の合格内定者数を除いた数を、一般選抜の募集定員とします。

2. 選抜において重視する点

○中学校における学習状況、特別活動、体育・文化活動、ボランティア活動その他の活動状況を重視します。

○本校・本学科への志望動機、基本的な生活習慣、部活動その他の課外活動に取り組む意欲・態度を重視します。その評価のため、面接試験を実施します。

なお、面接試験の結果は10点満点で評点化し、選抜の際の資料にします。

○個人調査報告書と学力検査の比率は、60:40とします。

3. 出 願

(1) 出 願 資 格

Iの2に定める応募資格を持つ人

なお、推薦選抜等で合格内定とならなかった場合に、改めて一般選抜に出願することは可能です。

(2) 出 願 期 間

令和5年1月30日(月)から2月2日(木)12時までとします。

持込みの場合：1月30日(月)、1月31日(火)、2月1日(水)は9時から17時まで、2月2日(木)は9時から12時までです。

郵 送 の 場 合：2月2日(木)12時以降に届いたものについては、2月1日(水)までの消印があるものに限り受け付けます。

4. 出 願 手 続

- (1) 本校は、全学科くくり募集ですので、学科別の募集はしません。
- (2) 入学志願者は出願にあたり、次に掲げるものを、出身中学校等の校長を経由して所定の期間中に提出してください。
 - ア. 本校所定の入学願書（一般選抜用のもの）
 - イ. 写真1枚（たて4cm×よこ3cm）
6か月以内に撮影した顔写真を、入学願書の所定の欄にはりつけてください。写真は無帽・無背景・正面とし、原則として制服とします。白黒・カラー写真の別は問いません。
 - ウ. 受検料
島根県収入証紙2,200円分を、入学願書の所定の欄にはりつけてください。ただし、消印をしてはいけません。推薦選抜等で合格内定にならず、改めて一般選抜に出願する場合は、推薦選抜等の受検校から交付された学力検査料納付済証明書を一般選抜の入学願書裏面の所定欄にはり、入学検定料800円のみを納付してください。
 - エ. 保護者が県外に居住する場合または出身中学校等が県外の場合は、「島根県公立高等学校入学志願承認願」（様式第8号）が必要になります。
- (3) 保護者が県外に居住し、下記のア、イに該当する場合は、島根県公立高等学校入学志願承認願（様式第8号）に次の書類を添付し、入学願書とともに、出身中学校等の校長を経由して所定の期間中に提出してください。
 - ア. 保護者の転勤等による転住の場合
 - (ア) 保護者の所属長の証明書または事情を証明できる資料
 - (イ) 島根県内の居住地が分かる資料
 - イ. 身元引受人により出願する場合
 - (ア) 身元引受人の承諾証明書（様式自由）
 - (イ) 受検者または保護者と身元引受人との関係を示す証明書（様式自由）
 - (ウ) 身元引受人の住民票
- (4) いったん受理した入学願書、添付書類等、および受検料は返還しません。

5. 志 願 変 更

- (1) 一般選抜出願者の状況は、令和5年2月3日(金)の14時に、島根県教育委員会のホームページで発表されます。その状況を見て出願者は1回に限り、本校から他校へ、あるいは他校から本校へ、志願変更することができます。
- (2) 志願変更受付期間
 - ア. 最初に出願した高等学校への志望変更届の提出期間は、令和5年2月9日(木)から2月13日(月)17時までで、土・日曜日および祝日は受け付けません。受付時間は3日間とも9時から17時までです。変更届は、書類を持ち込んだ場合のみ受け付けます。郵送による提出は認めません。
 - イ. 志願変更先の高等学校への提出期間は、令和5年2月14日(火)から2月15日(水)17時までです。持込みの場合、受付時間は9時から17時までです。郵送の場合、簡易書留速達に限り、2月15日(水)17時以降に届いたものについては、2月14日(火)までの消印があるものに限り受け付けます。なお、郵送の場合は、出身中学校長等から志願変更先高等学校長へ電話にて一報を入れてください。
- (3) 志願変更手続
 - ア. 本校に志願変更を希望する人は、次に掲げるものを、出身中学校等の校長を経由して、所定の期間中に、最初に出願した高等学校の学校長（以下、出願先と表記します）に提出してください。
 - ① 入学志願変更届（様式第10号）
入学志願変更証明書（様式第10号-2）にも必要事項を記載し、切り取らずに提出してください。出願先では、入学志願変更証明書の記載事項を確認したうえで押印し、交付されます。
 - ② 本校所定の入学願書（一般選抜用のもの）
所定の欄に、顔写真をはりつけてください。出願先では、学力検査料納付済証明書に収入済みの収納印を押印するなどの手続きをして、返付します。
 - イ. 入学志願変更証明書を交付された人は、次に掲げるものを、出身中学校等の校長を経由して、所定の期間中に、本校の学校長に提出してください。
 - ① 出願先から交付された入学志願変更証明書
 - ② 本校所定の入学願書（出願先で収入済みの収納印を受けたもの）

6. 学力検査・面接試験実施日時等

- (1) 期 日 令和5年3月7日(火)・8日(水)
- (2) 会 場 島根県立情報科学高等学校
- (3) 時 程 7日(火)

8:30～8:50 受付	12:30～13:15 昼食・休憩
8:50～9:15 諸注意・入場	13:20～14:10 英語(50分)
9:20～10:10 国語(50分)	14:30～15:20 理科(50分)
10:30～11:20 数学(50分)	15:30～ 面接試験(当日の該当者のみ実施)
11:40～12:30 社会(50分)	

8日(水) 面接試験
なお、3月8日(水)の面接試験は、県外等の遠方からの受検生を優先的に実施します。また、面接試験の日程は、後日、別途通知します。

(4) 面接試験の評価の観点

- ① 志望動機の明確さ ② 本校での諸活動への意欲 ③ 本校の専門教育に関する興味・関心
④ 言葉遣い、礼儀などの態度 ⑤ 地域に関する興味・関心

(5) その他

- ① 面接試験は、受検者全員に対して実施します。
② 学力検査・面接試験を欠席する場合には、中学校等を通して、8時40分までに理由を付して届け出てください。

7. 受検上の注意

- (1) 受検者は次の物を持参してください。
ア. 受検票 イ. 鉛筆またはシャープペンシル（和歌・格言等が印刷されていないもの）
ウ. 消しゴム エ. コンパス オ. 定規（三角定規も許可します。ただし、分度器兼用のものは除きます）
カ. 上履き キ. マスク ク. 昼食
※携帯電話、その他の通信機器の学力検査会場への持ち込みは禁止です。
(2) 各教科の検査開始時刻5分前に、定められた検査室に入って着席し、監督者の指示に従ってください。
(3) 机には上記ア～オ以外の物を置いてはいけません。ただし体調が悪く、ハンカチ、ティッシュペーパーを使う場合は、事前に受付教員または監督者に許可を得てから置いてください。なお、その際は、文字等の印刷されていないものに限りです。
(4) マスクは、文字等の印刷されていない、無地のものを着用してください。
(5) 下敷き、分度器は持参しないでください。
(6) 検査中の用具の貸し借りはできません。
(7) 英語科で一部放送による問題を実施します。難聴の受検生は特別措置願（様式第24号）を提出したうえで、補聴器を使用することができます。
(8) 検査室には時計がありません。検査場に持ち込むことができる時計は、計時機能だけのものに限りです。机上に置いて構いません。ただし、辞書・電卓・情報端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーおよび大型のものは不可とします。

8. 追 検 査

(1) 受 検 資 格

一般入学者選抜検査（以下「本検査」と表記します。面接試験を含みます。）当日の特別措置によっても対応できず、やむを得ず欠席した人のうち、次のア、イのいずれかに該当し、追検査の受検を希望する人。ただし、学力検査、面接試験の一部でも受検した人は除きます。

ア. 学校保健安全法施行規則第18条において、学校において予防すべき感染症に指定されている疾病に罹患した人
イ. 検査当日の災害、不慮の事故等やむを得ない理由により本検査を受検できなくなった人

(2) 出 願 手 続

出身中学校等の校長は、次の手続きを行ってください。

ア. 追検査の受検資格に該当し（該当する可能性があり）追検査受検を希望する受検生がいた場合、ただちに本校学校長および島根県教育委員会へ電話で連絡してください。

イ. 出身中学校等の校長は、以下のものを3月8日(水)10時までに本校学校長に提出してください。

- | | |
|----------------------|----|
| ① 追検査受検願（様式第25号） | 1部 |
| ② 証明書類（検査当日の医師の診断書等） | 1部 |
| ③ 追検査受検者名簿（様式第26号） | 3部 |

(3) 実施期日および検査内容

令和5年3月13日(月)の1日のみとし、学力検査の実施教科および実施順序ならびに検査時間は本検査と同じです。

面接試験は、学力検査終了後引き続いて行います。

(4) 学 力 検 査 場

追検査の学力検査場は、島根県教育委員会が定めますので、別途通知します。

9. 合 格 発 表

(1) 令和5年3月16日(木)10時、中学校等の校長を通じて本人に通知します。また、本校のホームページ上にも、合格者の受検番号を掲載します。

(2) 電話での問い合わせには応じられません。

10. そ の 他

合格者は、令和5年3月27日(月)の入学予定者オリエンテーションの際に、本校所定の「入学届」（合格通知とともに配布します）により、入学の意思表示をしてください。意思表示がない場合は、合格を取り消すことがあります。

IV. 第2次募集

令和5年度入学者選抜の合格発表後において、欠員が生じたときには、第2次募集を行います。

1. 募集人員

令和5年3月16日(木)の入学者選抜合格発表の時点で、本校の入学定員120名に対して欠員が生じた場合、その欠員数を募集人員とします。

第2次募集の実施の有無、及び募集人員は、令和5年3月16日(木)10時に、島根県教育委員会のホームページで公表します。

2. 出願

(1) 出願資格

Iの2に記載した応募資格を持つ人のうち、以下のア～エのいずれかに該当する人は、本校への出願資格がありません。

ア. 令和5年度島根県公立高等学校入学者選抜に合格した人

イ. 令和5年度入学者選抜において、高等専門学校、県外の高等学校または県内の私立高等学校等に合格し、入学手続きをした人

ウ. 令和5年度島根県公立高等学校入学者選抜の一般選抜において、本校に出願した人（志願変更をした場合は、変更後の出願校が本校であった人）

エ. 令和5年度島根県公立高等学校入学者選抜の学力検査を受検していない人

(2) 出願期間

令和5年3月17日(金)から3月20日(月)12時までとします。

持込みの場合：3月17日(金)は9時から17時まで、3月20日(月)は9時から12時までです。土・日曜日は受け付けません。

郵送の場合：簡易書留速達に限ります。3月20日(月)12時以降に届いたものについては、3月17日(金)までの消印があるものに限り受け付けます。なお、郵送の場合は、出身中学校長等から志願先高等学校長へ電話にて一報を入れてください。

3. 出願手続

(1) 本校は、全学科くくり募集ですので、学科別の募集はしません。

(2) 入学志願者は出願にあたり、次に掲げるものを、出身中学校等の校長を経由して所定の期間中に提出してください。

ア. 本校所定の入学願書（第2次募集用のもの）

イ. 一般選抜の際に発行された、学力検査料納付済証明書

ウ. 入学検定料800円

800円分の島根県収入証紙を、入学願書の所定の欄にはりつけてください。ただし、消印をしてはいけません。

エ. 写真1枚（たて4cm×よこ3cm）

6か月以内に撮影した顔写真を、入学願書の所定の欄にはりつけてください。写真は無帽・無背景・正面とし、原則として制服とします。白黒・カラー写真の別は問いません。

オ. 保護者が県外に居住する場合または出身中学校等が県外の場合は、「島根県公立高等学校入学志願承認願」（様式第8号）が必要になります。

(3) いったん受理した入学願書、添付書類等、および受検料は返還しません。

4. 選抜方法

(1) 一般選抜学力検査の結果を、選抜の際の資料として利用します。その際の個人調査報告書と学力検査の比率は、60：40とします。

(2) 受検者全員に対して、面接試験を実施します。時程等は以下の通りです。

ア. 期 日 令和5年3月22日(水)

イ. 会 場 島根県立情報科学高等学校

ウ. 時 程 9：30～9：45 受付 9：50～9：55 諸注意等 10：00～ 面接

エ. 面接試験の評価の観点 推薦選抜および一般選抜と同様です。

オ. 面接試験の結果は10点満点で評点化し、選抜の際の資料にします。

5. 受検上の注意

(1) 受検者は次の物を持参してください。 ア. 受検票 イ. 筆記用具 ウ. 上履き エ. マスク

(2) 難聴の人は、届け出て、補聴器を使用してもかまいません。

(3) 検査場に持ち込むことができる時計は、計時機能だけのものに限りです。

(4) 携帯電話、その他の通信機器を、検査場に持ち込むことはできません。

6. 合格発表

(1) 令和5年3月24日(金)15時、出身中学校等の校長を通じて本人に通知します。

(2) 電話での問い合わせには応じられません。

7. その他

合格者は、令和5年3月27日(月)の入学予定者オリエンテーションの際に、本校所定の「入学届」（合格通知とともに配布します）により、入学の意思表示をしてください。意思表示がない場合は、合格を取り消すことがあります。

学 校 概 要

1. 学校の特徴

本校は、特色ある専門高校として昭和62年に開校し、平成29年に創立30周年を迎えました。高度情報化社会において、地域を担う情報分野のスペシャリストの育成を目標とし、常に時代に対応した最新機器と教育環境を整備し、専門分野の教育を行っています。現在、島根県はIT関連企業を積極的に誘致し、IT人材の育成に力を入れています。本校も、1年次に松江発のプログラム言語であるRubyでアルゴリズムを学ぶなど、地域のニーズにこたえる人材育成を展開しています。また、令和3年度以降の入学生の教育課程において、学校設定科目「地域探究基礎」と「地域探究応用」を導入しました。学びの対象を地域に広げ、地域が抱える問題を深く洞察し、その解決策等を主体的に考え実行できる人材の育成を目指しています。

入学者選抜においては、全学科「くくり募集」を実施しており、1年次は全員が共通の科目を履修します。そこではコンピュータの仕組みやマルチメディアに関わることなどの情報分野や、商業に関わる基礎を幅広く学習します。そのうえで2年次からは、各自の興味・関心や将来希望する進路などに応じて学科を選択し、専門分野の学習を深めていくことができる仕組みになっています。3年次には自由選択科目も設け、より進路希望に応じた科目履修ができるように配慮しています。

各種の資格取得にも力を入れており、できるだけ多くの資格が取得できるように指導しています。

2. 各学科の概要

(1) マルチメディア科

コンピュータに関して主にソフトウェア面の理解を深める学科で、全国の公立高校で唯一の学科です。

コンピュータによるデザインや画像・動画・音声の加工編集、VRなどの最新の映像加工の学習をもとに、マルチメディア（文字・音声・画像・動画等のメディアを電子的に統合したもの）を効果的に活用できるようにします。そして自分のアイデアや求められる目的にあったイメージを表現する能力、プレゼンテーションやコミュニケーションに関する能力を身に付け、将来、ポスターやチラシのデザイン、Webページの作成などマルチメディア分野を効果的に活用できる人材の育成を図ります。

(2) 情報処理科

会計処理のスペシャリストを育成します。そのために本校の情報処理科では、簿記会計と情報処理をバランス良く学習します。今の時代、会計処理は手書きではなく、コンピュータに入力して処理することが多くなっています。そこで本校では、簿記会計と情報処理の知識を融合させて活用できる人材の育成を目指しています。

(3) 情報システム科

コンピュータに関して、ハードウェアとソフトウェアの両面から理解を深めます。

プログラミングの知識・技術を習得するとともに、ソフトウェア開発の基礎を学びます。また、ICT・IoTを利用したシステム設計やネットワークの構築・設定などの実習を通して、情報通信ネットワークの利用・管理について学びます。

1年次に学んだプログラム言語Rubyをさらに詳しく学ぶことができ、経済産業省認定の基本情報技術者試験など高度な資格取得にも挑戦できる、IT関連の事業で活躍する人材の育成を担う学科です。

3. 進路状況

県内外の企業や進学先から、情報関連分野のスペシャリストを育成する学校として期待されています。IT関連企業からの求人も増えてきています。

卒業時の進路は、就職者と進学者がほぼ同じ割合です。就職者のほとんどが、安来、松江、米子地区での就職です。進学は大学、短大、専門学校など様々です。取得した資格を活かして進学する人もいます。就職・進学のどちらにも対応可能な学校です。

学校の規模が小さいので、面接指導、小論文・作文指導など、きめ細やかな指導を行うことができます。

4. 部活動

豊かな教養とたくましい心身の育成を図るため、学業と両立できるよう配慮しながら、部活動への積極的な加入を勧めています。開設している部活動は以下の通りです。

【体育系】硬式野球部、バレーボール部（男子・女子）、卓球部、サッカー部

ソフトテニス部（男子・女子）、陸上競技部、バドミントン部、剣道部

【文化系】吹奏楽部、美術部、演劇部、茶道部、生活科学部、ワープロ部、情報科学部、放送部

5. 学 費 ※金額は概算（令和4年度の実績）です。

毎月必要な金額	授業料 9,900円（高等学校等就学支援金の対象者は除きます） 諸会費・学年会費 5,800円（5月～12月）・4,600円（1月）・9,200円（2月）
入学時納入金	入学金 5,650円 諸会費・学年会費 38,600円（4月）

6. 学 習 科 目

共通履修		マルチメディア科		情報処理科		情報システム科		
1 年		2 年	3 年	2 年	3 年	2 年	3 年	
1	言語文化	1						
2		2	現代の国語	文学国語	現代の国語	文学国語	現代の国語	文学国語
3		3						
4	地理総合	4	公 共	歴史総合	公 共	歴史総合	公 共	歴史総合
5		5						
6	数 学 I	6	数 学 A		数 学 A		数 学 A	
7		7						
8		8	科学と人間生活	数 学 研 究	科学と人間生活	数 学 研 究	科学と人間生活	数 学 研 究
9	体 育	9						
10		10	体 育	生物基礎	体 育	生物基礎	体 育	生物基礎
11	保 健	11	保 健		保 健		保 健	
12		12						
13	音 I ・ 美 I	13	体 育		体 育		体 育	
14		14	英 語		英 語		英 語	
15	英 語	15	コミュニケーションII		コミュニケーションII		コミュニケーションII	
16		16	英 語		英 語		英 語	
17	コミュニケーションI	17	コミュニケーションII		コミュニケーションII		コミュニケーションII	
18	ビジネス基礎	18	家庭総合		家庭総合		家庭総合	
19		19	家庭総合		家庭総合		家庭総合	
20	簿 記	20	商品開発と流通		財務会計 I		ソフトウェア活用	
21		21	課題研究		課題研究		課題研究	
22	情報処理	22	ソフトウェア活用					
23		23						
24	プログラミング	24	総合実践		原価計算		プログラミング	
25		25	ネットワーク活用					
26	地域探究基礎	26						
27		27	情報デザイン		ソフトウェア活用		データベース	
28	地域探究応用	28	コンテンツの制作と発信		ビジネスマネジメント		財務会計 II	
29		29	自由選択		財務会計 II		自由選択	
30	地域探究基礎	30	地域探究応用		地域探究応用		地域探究応用	
31	ホームルーム活動	31	ホームルーム活動		ホームルーム活動		ホームルーム活動	

○ 1 年次…音 I ・ 美 I 、 情報処理科 3 年次…ビジネスマネジメント・財務会計 II はいずれかを選択する

○ 3 年次自由選択科目群 (科目名については変更の可能性があります)

表現演習	政治・経済	総合理科	論理・表現 I	マーケティング	ビジネススキル
器楽	保育基礎				

7. 自 立 活 動

1 ～ 3 年の各学年において、必要に応じて週 1 ～ 2 時間の自立活動を行うことがあります。

8. 所在地略図



◎自転車利用 荒島駅—情報科学高校……………約 3.9 km (およそ20分)

安来駅—情報科学高校……………約 4.9 km (およそ25分)

◎安来市広域生活バス (イエローバス)

荒島駅方面・安来駅方面・広瀬方面・伯太方面の路線が利用できます。

※所要時間 (バス停からの徒歩の時間は含みません)

荒島駅から……………およそ10分

安来駅から……………およそ14分

広瀬バスターミナルから……………およそ15分

安来市役所伯太庁舎から……………およそ13分

※時間帯によって、生徒昇降口前まで乗り入れる便もあります。